

94 いなばぢょうあと 稲葉地城趾

天文年間（1532—1555）初頭、織田信秀の弟津田豊後守信光（信長の叔父）の築城とされる。2代玄藩允、3代与三郎は桶狭間の戦いで討死、4代小藤次も本能寺の変で討死し、廃城となった。城の西南に建てられた凌雲寺は、信長が習字や学問を学んだ寺という言い伝えが残る。

関係武将等 津田豊後守信光（つだぶんごのかみのぶみつ）、織田信長（おだのぶなが）

住所 名古屋市中村区城屋敷町4-10（神明社）

アクセス 地下鉄東山線「中村公園駅」より市バス「稲葉地町」停、北西へ800m、徒歩約10分。

目印等 庄内川堤防下の凌雲寺より北へ50mにある。

入場料 無料

トイレ なし

駐車場 なし

休業日 なし

お問い合わせ なし



MAPCODE® 431 1000*61

👍 お祭り・行事

甘酒祭 10月中旬

牧野神明社（名古屋市中村区太閤1-21-6）で行われ、無病息災・厄除開運を祈り、参拝者に甘酒を振舞う。

戦国寄り道クイズ

Q94. 稲葉地城西南の凌雲寺にある信長が手習いの草紙を掛けたといわれる木は？

イ. 松

ロ. 樺（けやき）

ハ. 楠（くす）